



コロナ休校特別号 Vol. 12

『緊急事態宣言解除』



4月17日。全国に緊急事態宣言が発令されてからほぼ1ヶ月。ようやく「解除」の決定がなされました。学校の再会ももうすぐかもしれませんね。はっきりとした再開の日時、その後の学校のスケジュールや部活動の有無、給食の開始日など、詳しいことについては、県や市の教育委員会からの連絡を待ってみなさんにお伝えすることになります。とりあえず「もうすぐ学校が始まる!」ということを手に入れて、リズムを元に戻して、授業について行ける準備だけはきちんとやっておいってくださいね。

とはいえ、依然として大都市圏では緊急事態宣言の解除はされていません。今でも病氣と闘っている方や、危険な状態にもかかわらず仕事を休まず働いている方もたくさんいます。「解除」といっても完全に元の生活に戻れるのではなく、今君たちがしていることを引き続き行いながら生活していく必要があります。コロナウイルスに限らず様々な感染症にうつらない、うつさないために自分ができることを考えながら、これから先の君たちが生きる長い人生の「新しいライフスタイル」を考えるつもりで生活していくといいね。

さて、歴史の話です。14世紀、西ヨーロッパでは、人口の3分の1を死に至らしめたペスト(黒死病)という病気が猛威を奮いました。人類の歴史は感染症との戦いの連続。他にも、天然痘、梅毒、歴史の浅いところでは第一次大戦の頃世界で流行したスペイン風邪と、感染症が流行するたびに多くの人命が失われてきました。人類はそのたびに感染症をやっつけてきたかと思ったら、実は大間違い。根絶したのは天然痘だけといわれています。先に述べたペスト菌に至っては、菌を見つけたのはなんと500年後の19世紀。日本人の北里柴三郎という医学者です。(野口英世の先生。次の1000円札になる人だよ。)

感染症の流行は確かにたくさんの人命を奪っていったけど、実は新しい時代の到来が感染症を拡大させ、そしてまた感染症を契機に新しい文化を創り上げてきたようです。梅毒や天然痘はイギリスからアメリカへ海を越えての交易が始まったから広がり、(歴史では大航海時代として勉強するよ) コレラはイギリスの植民地が増えたことでインドのベンガル地方の風土病が世界中に広がったからとのこと。

そしてペストの流行により、どうせ死ぬなら好きにしようという自由な考え方が広がり、後のルネサンスにつながりました。人口の減少により土地だけが残し、広い土地を使った牧羊が盛んになったり、土地を貸し出したことでその土地を生かしてどうやって稼ぐかを考えた結果、資本主義が広まったそうです。英語が広い地域で使われるようになったのは、ペストによってフランス語を使っていた民族が多く亡くなり、英語を使っている民族が生き残ったからといわれています。

コロナウイルスにより私たちの生活は変わらざるを得ない状況に陥りました。これから先、マスクをするのが普通という生活になったら、今よりもっと性能のいいマスクが作られるかもしれない。アルコールだって、わざわざ買わなくても、アルコール入りの洗剤や香水や化粧品とか、他にも新しい商品が開発されるかもしれません。

オンラインでの双方向通話ができるzoomが一気に脚光を浴びたことで、リモート会議がもっと普及したら、いろんな理由で学校や職場に行くことができなくても授業や会議に参加できたり、収入を得られるようになるかもしれません。いや、君たちの時代になったら、在宅ワークが当たり前になるかもしれませんね。

前回も書いたようにこの休校中に君たちができるようになったことや、発見したことが君たちの人生を変える可能性だってなきにしもあらず。かの有名なニュートンが万有引力の法則を発見したのは、ペストにより学校が休みになってしまった間のできごとだったらしい。(ホントかな?是非調べてみてください)

さあ、もうすぐ学校。感染症との戦いはまだまだ続きます。持続可能な新しいライフスタイルを確立させながら、コロナウイルスに負けずに楽しい学校生活をスタートさせよう。

授業に役立つお得情報
& 知ってたらきっと役に立つ豆知識

時差シリーズ3連発。これが
最終。日頃から外国は今何時っ
て考える癖をつけよう！



なるほど“The Trivia”! by Yukkieeee

時差の問題③ 授業の復習ですよ！

皆さんこんにちは。お楽しみの時差の時間がまたまたやって参りました。今回は応用編ということで、
気合いを入れてやっていきましょう。

(1) 飛行機は最短距離を飛ぶ

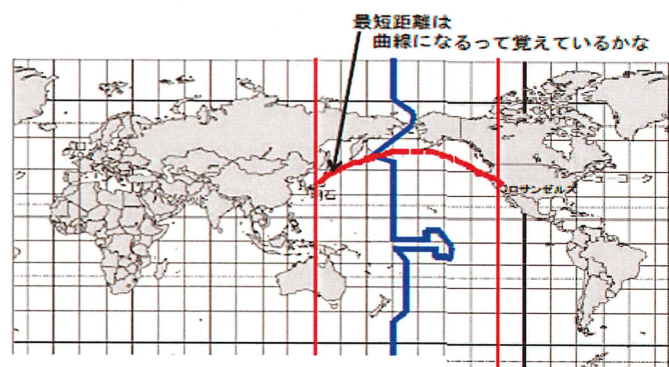
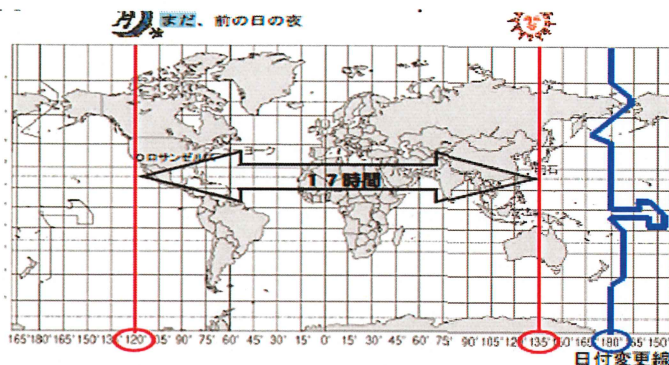
今度は実際に飛行機に乗って、海外旅行をするときのことを考えてみましょう。成田空港からアメリカのロサンゼルスやオーストラリアのシドニーに行くことを想定します。

時差の計算では、欧米が中心の世界地図を使って数直線のように考えたいました。だから、成田空港（日本）とロサンゼルスの時差は、日本が東経135度でロサンゼルスが西経120度なので、
経度差は $135 + 120 = 255$

よって、時差は $255 \div 15 = 17$
ロサンゼルスは日本より西側にあるので17時間前ということになります。

しかし、実際に飛行機は最短距離を進むので、太平洋上の日付変更線を通して飛んでいきます。その場合、かかる時間は約10時間です。

では、5月1日午後3時に成田空港を出発した飛行機は、ロサンゼルの現地時間で何月何日の何時に空



まずは日本
を飛つ時、現地
は何時かを考
えること。

(2) 段階を踏んで考えましょう

- ① まず、時差を考えます。ロサンゼルスは日本の17時間前なので、日本が5月1日の午後3時のとき、ロサンゼルスは4月30日午後10時ということになります。
- ② そして、ロサンゼルの時間で飛行機の10時間を足せばいいのです。
つまり、5月1日の午前8時に到着ということが分かりました。

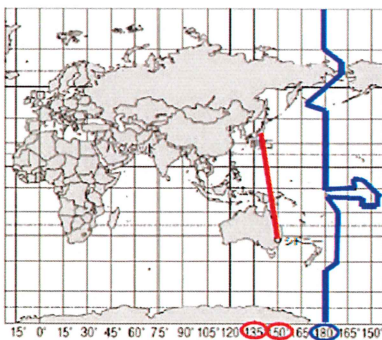
(3) 日付変更線を越えたとき、時計の針をどうすればいい？

ちなみに、成田空港からオーストラリアのシドニーまではロサンゼルスと同じように10時間かかるようです。

では、5月1日の午後3時に成田空港を出発した飛行機は、シドニーの現地時間で何月何日の何時に空港に着くでしょうか。

- ① シドニーは東経150度の経線を標準時としているので、日本との時差は1時間です。そして、シドニーは日本より東側なので、1時間後です。つまり、シドニーの現地時間は5月1日午後4時。
- ② それに飛行機に乗っている10時間を足します。
つまり、シドニーの到着時刻は、5月2日の午前2時ということになります。

こちらの場合は日付変更線をまたいでいません。これらのことから、日付変更線を西から東に越えるときは、時計を1日戻すのです。つまり、日本より時間が早く進んでいるのは、日付変更線までの、たった「3時間」ということになります。



シドニーは、日本より1時間早い。日本時間に+1で、更に飛行機の所要時間を足すだけ。ニュージーランドは+3だよ。

このおたよりを書いたのは、5月13日でした。「緊急事態宣言明日にも解除」というニュースが流れ、おっ、いよいよ！と思いながら書いていました。2日後の今朝の新聞には、首都圏も来週を目安にという記事が。日々刻々と状況が変わりますね。さあ、この2ヶ月、夜な夜な起きていたキミ！朝寝坊していたキミ！この週末でペース戻すよ！！週末には持ち物を確認しておこう。どうせ登校日だからといひ宿題を提出していなかったキミ！今度は全部持ってくるよ！学校がいつ始まって大丈夫なように、心と体の準備をしておくこと！学校で会えるのを楽しみにしているよ！

